

第22回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第22回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2020年10～12月期の業況は「やや改善」。
- 業況D.I.は、2期連続で改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準には及ばず、厳しい状況が続く。
- 2021年1～3月期の業況は「やや悪化」する見通し。

業況D.I.

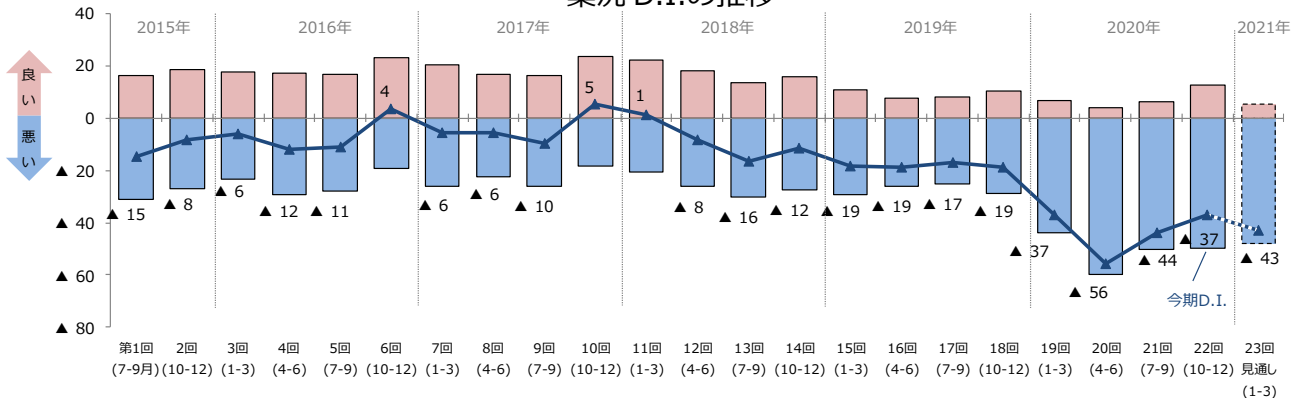
○今期は▲37(良い<悪い)と、前期(▲44)よりやや改善。

- 全体としては11期連続のマイナスで、第19回(2020年1～3月期)に並び調査開始(2015年7～9月期)以来、3番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲19)と比較すると、悪化。
- 業種別では、前期に引き続き経済活動の再開などから、情報通信業(前期▲40→今期0)、不動産業(前期▲14→今期17)が大幅に改善し、運輸業(前期▲56→今期▲38)、建設業(前期▲32→今期▲19)が改善、製造業(前期▲47→今期▲43)もD.I.は低水準ながらやや改善した。

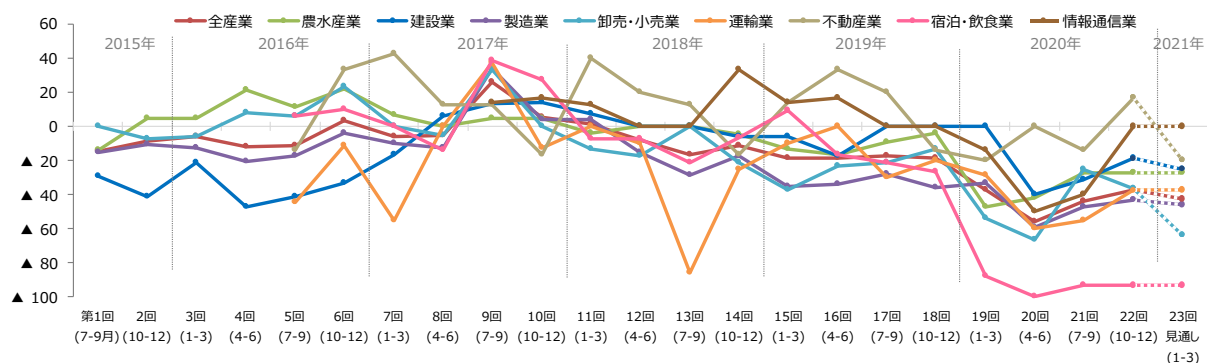
○来期は▲43(良い<悪い)と、やや悪化する見通し。

- 業種別では、不動産業(今期17→来期▲20)、卸売・小売業(今期▲36→来期▲64)が大幅に下落・悪化し、建設業(今期▲19→来期▲25)、製造業(今期▲43→来期▲46)がやや悪化する見通し。

業況D.I.の推移



業種別業況D.I.



※ 上記は、業況D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○今期は▲37(良い<悪い)と、前期(▲44)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては11期連続のマイナスで、第19回(2020年1~3月期)に並び調査開始(2015年7~9月期)以来、3番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲19)と比較すると、悪化。 ➢ 業種別では、前期に引き続き経済活動の再開などから、情報通信業(前期▲40→今期0)、不動産業(前期▲14→今期17)が大幅に改善し、運輸業(前期▲56→今期▲38)、建設業(前期▲32→今期▲19)が改善、製造業(前期▲47→今期▲43)もD.I.は低水準ながらやや改善した。 <p>○来期は▲43(良い<悪い)と、<u>やや悪化する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、不動産業(今期17→来期▲20)、卸売・小売業(今期▲36→来期▲64)が大幅に下落、悪化し、建設業(今期▲19→来期▲25)、製造業(今期▲43→来期▲46)がやや悪化する見通し。
生産高 D.I.	<p>○今期は▲26(増加<減少)と、前期(▲40)より<u>改善</u>した。</p>
売上・完工高 D.I.	<p>○今期は▲32(増加<減少)と、前期(▲49)より<u>改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(前期▲67→今期▲25)、不動産業(前期▲14→今期17)、卸売・小売業(前期▲42→今期▲18)が大幅に改善し、製造業(前期▲46→今期▲27)、建設業(前期▲58→今期▲41)、情報通信業(前期0→今期13)が上昇、改善した。 <p>○来期は▲41(増加<減少)と、<u>やや悪化する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、不動産業(今期17→来期▲20)、卸売・小売業(今期▲18→来期▲55)が大幅に下落・悪化し、運輸業(今期▲25→来期▲43)が悪化、製造業(今期▲27→来期▲37)がやや悪化する見通し。
製品・商品在庫 D.I.	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が12%、「適正」が71%、「不足」が17%、D.I.は▲6(過剰<不足)となり、前期(▲7)と横ばい。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○今期は▲2(上昇<下落)と、前期(▲11)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、建設業(前期▲17→今期14)、宿泊・飲食業(前期▲33→今期▲7)が大幅に改善し、運輸業(前期▲17→今期0)、農水産業(前期▲29→今期▲13)が改善した。 <p>○来期は▲6(上昇<下落)と、<u>やや悪化する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、農水産業など4業種が下落、悪化する見通し。
原材料仕入単価 D.I.	<p>○今期は24(上昇>下落)と、前期(25)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、農水産業(前期20→今期43)が大幅に上昇し、運輸業(前期60→今期75)が上昇、建設業(前期29→今期38)、不動産業(前期20→今期25)がやや上昇した一方で、卸売・小売業(前期33→今期10)が大幅に下落し、情報通信業(前期33→今期14)、製造業(前期24→今期13)が下落した。 <p>○来期は29(上昇>下落)と、<u>やや上昇する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(今期75→来期50)、不動産業(今期25→来期0)が大幅に下落する一方で、農水産業(今期43→来期64)が大幅に上昇する見通し。
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲17(楽<苦しい)と、前期(▲23)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(前期▲57→今期▲17)が大幅に改善し、製造業(前期▲30→今期▲22)、卸売・小売業(前期0→今期9)、情報通信業(前期20→今期25)、建設業(前期▲28→今期▲24)がやや上昇、改善した。 <p>○来期は▲22(楽<苦しい)と、<u>やや悪化する見通し</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、農水産業(今期▲13→来期▲13)、不動産業(今期33→来期40)、宿泊・飲食業(今期▲67→来期▲60)を除くすべての業種で下落、悪化する見通し。

概 況	
雇 用 人 員 D.I.	<p>○今期は▲34(過剰<不足)と、前期(▲42)よりやや改善。</p> <p>➢業種別では、卸売・小売業(前期▲33→今期▲36)、不動産業(前期▲43→今期▲50)を除くすべての業種で改善した。</p> <p>➢鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2020年11月の有効求人倍率の平均は1.30倍となっている。11月の有効求人数(パート含む)は3,567人、有効求職者数(パート含む)は2,754人となっている。</p> <p>○来期は▲35(過剰<不足)と、横ばいとなる見通し。</p> <p>➢業種別では、不動産業(今期▲50→来期▲40)が改善し、製造業(今期▲28→来期▲20)がやや改善する一方で、情報通信業(今期▲38→来期▲50)が悪化し、建設業など3業種がやや悪化する見通し。</p>
損 益 D.I.	<p>○今期は▲35(好転<悪化)と、前期(▲45)より改善。</p> <p>➢業種別では、農水産業(前期▲22→今期▲33)、不動産業(前期0→今期0)、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲93)を除く全ての業種で改善した。</p> <p>○来期は▲44(好転<悪化)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では建設業(今期▲35→来期▲29)、宿泊・飲食業(今期▲93→来期▲93)、情報通信業(今期0→来期0)を除くすべての業種で下落、悪化する見通し。</p>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 180 先

(農水産業 35 先、建設業 22 先、製造業 57 先、卸売・小売業 20 先
 不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先)

回答数：140 件 回答率：77.8%

2 調査時期： 2021 年 1 月

3 対象期間： 2020 年 10～12 月期実績(今期)、2021 年 1～3 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

第22回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

項目	2020年7～9月				2020年10～12月					2021年1～3月				
	前 期				今 期					来 期 見 通 し				
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 今	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	
自社の業況(景況感)	6	44	50	▲44	12	38	50	▲37	▲38	5	47	48	↓▲43	
農水産業	9	55	36	▲27	18	36	45	-▲27	▲18	9	55	36	-▲27	
建設業	0	68	32	▲32	0	81	19	↑▲19	▲28	0	75	25	↓▲25	
製造業	9	34	57	▲47	10	37	53	↑▲43	▲46	4	46	50	↓▲46	
卸売・小売業	8	58	33	▲25	9	45	45	↓▲36	▲25	0	36	64	↓▲64	
運輸業	0	44	56	▲56	13	38	50	↑▲38	▲25	13	38	50	-▲38	
不動産業	14	57	29	▲14	50	17	33	↑▲17	▲17	20	40	40	↓▲20	
宿泊・飲食業	0	7	93	▲93	0	7	93	-▲93	▲77	0	7	93	-▲93	
情報通信業	0	60	40	▲40	38	25	38	↑▲0	▲40	13	75	13	-▲0	
生産高(製造業)	15	30	55	▲40	18	38	44	↑▲26	▲44	12	47	41	↓▲29	
売上・完工高	11	30	59	▲49	16	36	48	↑▲32	▲38	11	38	51	↓▲41	
農水産業	17	30	52	▲35	13	38	50	↓▲38	▲35	13	39	48	↑▲35	
建設業	0	42	58	▲58	0	59	41	↑▲41	▲26	6	47	47	-▲41	
製造業	13	27	60	▲46	20	33	47	↑▲27	▲37	12	39	49	↓▲37	
卸売・小売業	8	42	50	▲42	18	45	36	↑▲18	▲25	0	45	55	↓▲55	
運輸業	0	33	67	▲67	25	25	50	↑▲25	▲38	14	29	57	↓▲43	
不動産業	29	29	43	▲14	50	17	33	↑▲17	▲57	20	40	40	↓▲20	
宿泊・飲食業	0	7	93	▲93	0	7	93	↑▲93	▲75	0	8	92	↑▲92	
情報通信業	20	60	20	▲0	25	63	13	↑▲13	▲20	25	63	13	-▲13	
製品・商品在庫 (適正水準比)	多い	妥当	少ない	▲7	多い	妥当	少ない	▲17	▲6					
農水産業	5	95	0	▲5	17	74	9	↑▲9						
建設業	0	76	24	▲24	0	79	21	↑▲21	▲21					
製造業	15	69	15	▲0	13	67	21	↓▲8	▲8					
卸売・小売業	17	75	8	▲8	18	73	9	↑▲9						
運輸業	0	100	0	▲0	0	100	0	-▲0	▲0					
不動産業	0	75	25	▲25	40	40	20	↑▲20						
宿泊・飲食業	0	64	36	▲36	7	64	29	↑▲29	▲21					
情報通信業	0	75	25	▲25	0	86	14	↑▲14	▲14					
製(商)品販売単価	上昇	横ばい	低下	▲11	上昇	横ばい	低下	▲12	▲2	▲6	上昇	横ばい	低下	▲6
農水産業	10	52	38	▲29	13	61	26	↑▲13	▲33	5	59	36	↓▲32	
建設業	6	72	22	▲17	21	71	7	↑▲7	▲0	29	64	7	↑▲21	
製造業	4	83	13	▲10	0	92	8	↑▲8	▲6	2	90	8	↑▲6	
卸売・小売業	27	73	0	▲27	20	70	10	↓▲10	▲17	10	80	10	↓▲0	
運輸業	17	50	33	▲17	14	71	14	↑▲14	▲0	20	14	14	-▲0	
不動産業	40	60	0	▲40	40	60	0	-▲40	▲40	25	75	0	↓▲25	
宿泊・飲食業	0	67	33	▲33	7	79	14	↑▲14	▲7	▲23	7	71	21	↓▲14
情報通信業	0	100	0	▲0	0	100	0	-▲0	▲0	0	100	0	-▲0	
原材料仕入単価	上昇	横ばい	低下	▲5	上昇	横ばい	低下	▲4	▲24	▲24	上昇	横ばい	低下	▲3
農水産業	20	80	0	▲20	43	57	0	↑▲43	▲35	64	36	0	↑▲64	
建設業	35	59	6	▲29	38	63	0	↑▲38	▲29	56	44	0	↑▲56	
製造業	28	68	4	▲24	15	83	2	↓▲2	▲13	18	15	85	0	
卸売・小売業	33	67	0	▲33	20	70	10	↓▲10	▲17	10	80	10	↓▲0	
運輸業	60	40	0	▲60	75	25	0	↑▲75	▲50	50	50	0	↓▲50	
不動産業	20	80	0	▲20	25	75	0	↑▲25	▲40	0	100	0	↓▲0	
宿泊・飲食業	33	47	20	▲13	38	38	23	↑▲23	▲15	8	38	38	23	-▲15
情報通信業	33	67	0	▲33	14	86	0	↓▲0	▲14	50	14	86	0	-▲14
資金繰り	楽	普通	苦しい	▲23	楽	普通	苦しい	▲25	▲17	▲21	楽	普通	苦しい	▲30
農水産業	13	61	26	▲13	8	71	21	↑▲13	▲13	13	63	25	-▲13	
建設業	0	72	28	▲28	6	65	29	↑▲24	▲28	0	63	38	↓▲38	
製造業	0	70	30	▲30	4	71	25	↑▲22	▲29	4	67	29	↓▲24	
卸売・小売業	8	83	8	▲0	18	73	9	↑▲9	▲0	9	82	9	↓▲0	
運輸業	0	43	57	▲57	0	83	17	↑▲17	▲33	0	67	33	↓▲33	
不動産業	43	57	0	▲43	33	67	0	↓▲33	▲29	40	60	0	↑▲40	
宿泊・飲食業	0	44	56	▲56	0	33	67	↑▲67	▲43	0	40	60	↑▲60	
情報通信業	20	80	0	▲20	25	75	0	↑▲25	▲0	25	50	25	↓▲0	
雇用人員	過剰	適正	不足	▲45	過剰	適正	不足	▲41	▲34	▲43	過剰	適正	不足	▲43
農水産業	0	64	36	▲36	7	70	30	↑▲30	▲32	0	61	39	↓▲39	
建設業	0	32	68	▲68	6	24	71	↑▲65	▲58	6	18	76	↓▲71	
製造業	8	52	40	▲33	10	52	38	↑▲38	▲43	14	51	35	↑▲20	
卸売・小売業	0	67	33	▲33	0	64	36	↓▲36	▲25	0	64	36	-▲36	
運輸業	0	33	67	▲67	0	63	38	↑▲38	▲75	0	63	38	-▲38	
不動産業	0	57	43	▲43	0	50	50	↓▲50	▲43	0	60	40	↑▲40	
宿泊・飲食業	7	53	40	▲33	27	33	40	↑▲40	▲31	▲31	27	47	↓▲20	
情報通信業	0	40	60	▲60	0	63	38	↑▲38	▲60	0	50	50	↓▲50	
損益	好転	横ばい	悪化	▲45	好転	横ばい	悪化	▲46	▲35	▲38	好転	横ばい	悪化	▲44
農水産業	17	43	39	▲22	8	50	42	↓▲42	▲33	▲22	8	46	46	↓▲38
建設業	0	56	44	▲44	0	65	35	↑▲35	▲28	0	71	29	↑▲29	
製造業	13	26	60	▲47	12	45	43	↑▲43	▲48	2	52	46	↓▲44	
卸売・小売業	8	33	58	▲50	18	45	36	↑▲36	▲18	▲25	0	55	45	↓▲45
運輸業	0	44	56	▲56	13	38	50	↑▲38	▲38	13	25	63	↓▲50	
不動産業	14	71	14	▲0	33	33	33	-▲0	▲29	17	33	50	↓▲33	
宿泊・飲食業	0	13	88	▲88	0	7	93	↓▲93	▲64	0	7	93	-▲93	
情報通信業	20	40	40	▲20	25	50	25	↑▲25	▲20	13	75	13	-▲20	

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。